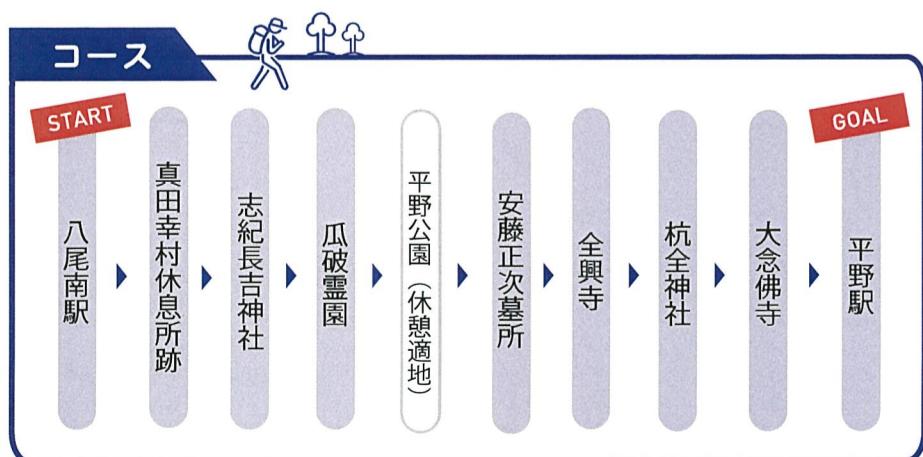
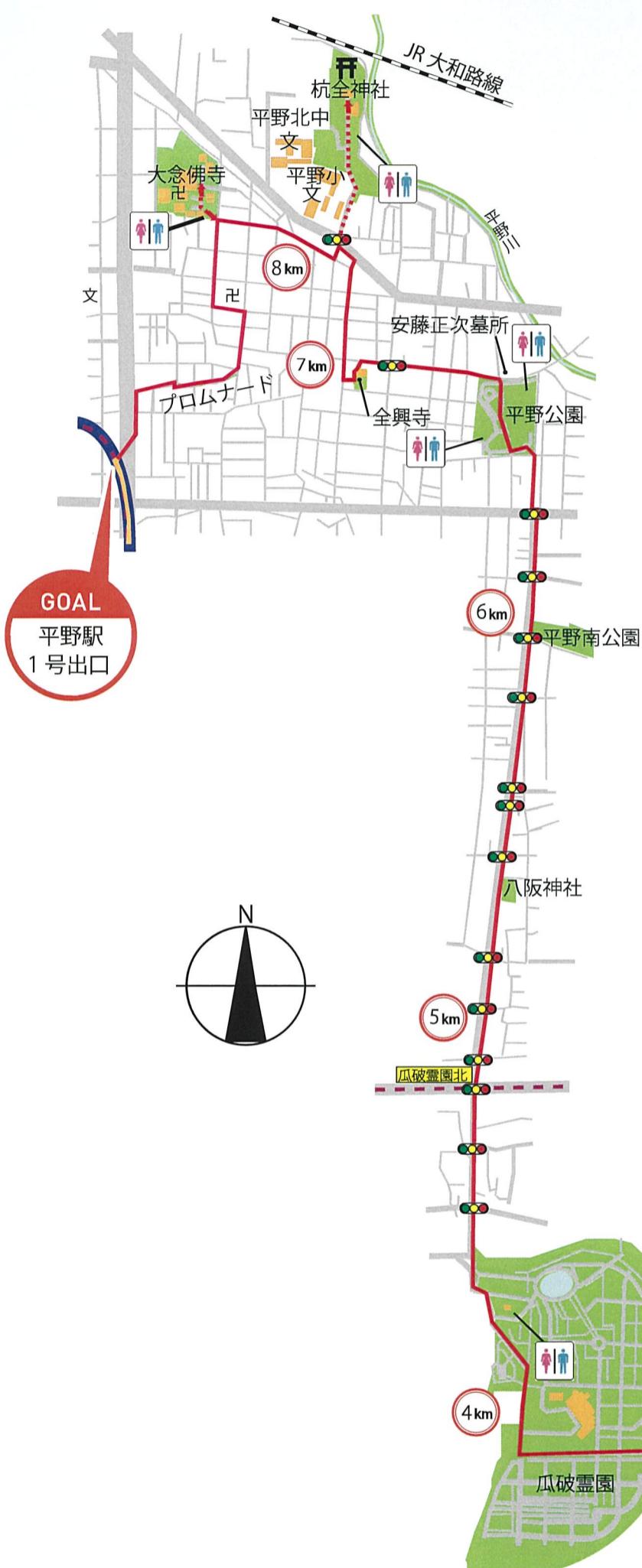


ぶらりウォーク

幸村が駆け抜けた大阪
「真田幸村休息の地と平野郷」

約 9 km

第6回



【コース説明】

八尾南駅から西へ進み、近畿自動車道の高架下を過ぎて、一つ目の信号を北へ折れる。長原公園南角を西へ入りすぐの筋を北へ進むと「真田幸村休息所跡」がある。大坂夏の陣の際、徳川方の伊達政宗軍と一緒に交えた後、この地で休息したとされる。その後さらに北にある志紀長吉神社に戦勝を祈願したとされる。この時刀剣と赤地に黒の六文銭を奉納したと伝えられている。

コースは、少し道を戻り、瓜破霊園へ入る。瓜破霊園は、大阪市設靈園として1940年に開設されたもので、園内には、花塚山古墳や瓜破遺跡などがある。

瓜破霊園を過ぎるとしばらく北へまっすぐ進む。2kmほどで平野公園だ。公園内には、平野郷樋尻口門跡がある。道明寺合戦で敗北した幸村は大阪城へ退却する際、家康が平野で休息を取ると予測し、樋尻口の地蔵堂に地雷を仕掛けた。家康が現れ、地雷が爆破しよとしたとき小便したくなった家康がその場を離れ一生を得たと言われる。その前には、徳川秀忠に直属した安藤正次の墓所がある。

ここから西へ進むと商店街に入り、信号を超えるとすぐ「全興寺」がある。ここには幸村が樋尻口地蔵堂に仕掛けた地雷の爆破によって飛来したと言われる首の地蔵尊や駄菓子屋さん博物館などがある。

この後、杭全神社、大念佛寺と回る。大念佛寺は、大坂冬の陣と夏の陣の時徳川家康が訪れ、天下泰平、武運長久を祈願したと言われる。

谷町線の開通で廃止された旧南海平野線軌道敷に設置されたプロムナードを通り、ゴールの谷町線平野駅へと向かう。

